

## 児童劇団「大きな夢」・劇団BDP 稽古場での新型コロナウイルス感染予防対策

令和2年7月30日

- 講師・劇団員・父母会は健康を守ることを第一と考え、体調が悪い（かもしれない）と感じた場合には、各KMの主任講師か父母会役員に連絡の上、気兼ねをせず休む。またはオンライン参加にする。
- 主催者・父母会においては、体調不良者が出た場合に備え、可能な限りバックアップできるように準備をする。
- コロナウイルス感染症を疑う症状が呈した方と、発症2日前から隔離開始までの期間に濃厚接触した可能性がある場合、速やかに主任講師へ申し出る。全体連絡は不安を煽る場合があるので、主任講師へ連絡する。
- 発熱等の症状により自宅で療養することとなった方は、毎日健康状態を確認した上で、症状が改善してから最低48時間の経過期を経過するまで稽古に参加しない、させない。
- 感染が確認された方は、完治するまで稽古を休む。
- 濃厚接触者と判断された場合は、2週間は対面稽古に参加しない、させない。オンラインレッスンに切替える等対応する。
- 通っている学校で感染者が確認され、本人が濃厚接触者と判断されなくても、1週間は対面稽古に参加しない、させない。
- 息苦しさや強いだるさ、熱などの症状がある場合や、咳などの比較的小さいかぜの症状がある場合は、自宅待機にする。
- 稽古場の準備や片付けの際、十分な時間を設定し、三密の重なるの発生防止に努める。
- 稽古時には十分な時間を設定し、一日の拘束時間が過度に長時間にならないよう配慮する。
- 全員入室時（または会館来場時）に検温を行う。もしくは各自自宅にて検温をする。37.5℃以上の場合や体調に異変がある場合は自宅待機とする。
- 稽古場内は常時換気を実施する。
- 稽古場内の手すり、カーテン、ドアノブ、机、椅子、音響機器等は頻りに清拭消毒を行う。
- 劇団員・スタッフ・講師の触れる部分、小道具は演出部と相談し抗菌処理を行う。
- 稽古中、キャストがマスクを外す場合には可能な範囲で人との距離を取る、本人が気になる場合はフェイスシールドを着用する。
- 稽古中、キャスト以外の講師・スタッフはマスクまたはフェイスシールドを着用する。キャストは見学の際、マスクまたはフェイスシールドを着用する。
- 講師・劇団員・スタッフにおいてはマイシューズ・マイカップ・マイ水筒などの管理、洗浄、消毒は各自責任を持って行う。
- ペットボトル飲料は各自、管理、破棄をする。稽古場の残置に注意し、残置されたペットボトルは廃

棄する（持ち物には名前記入を推奨）。

- 稽古参加者以外の関係者の稽古場の出入りは必要時を除き、極力少なくする。
- 体験者・見学者においては、稽古会場の人数制限を越さないよう注意する。
- 劇団員同士でのお菓子交換は基本的に禁止。差入れがある場合は、極力個包装のものにする。
- 万が一感染者が出て、稽古・公演に中止を含む支障が出た場合も、感染者に責務を負わせない。
- 稽古の続行・中止については主任講師と劇団が父母会や制作と相談した上、責任を持って決定する。
- 移動中はマスクを着用・咳エチケットを遵守する
- 主任講師・父母会役員・劇団スタッフの緊急連絡先、連絡方法を作成する。
- 感染が疑われた場合、速やかに隔離等を行い、人との接触をできる限りさけるものとする。必要に応じて直ちに帰宅させ、自宅待機とする。
- 劇団関係者に感染が疑われる場合には、保健所の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。
- 万が一、感染が発生した場合は、感染した人の人権を守る配慮を行う。
  
- 上記の全ての内容を関係者に周知徹底する。

劇団 BDP／児童劇団「大きな夢」事務局

TEL：042-379-8622

MAIL：office@ml.gekidan-bdp.jp